



いちご 一会
Ichigo-ichie

笑顔でつながる 元気なまち よしみ

発刊にあたって

吉見町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、東は雄大な荒川の流れてによって形づくられた実り豊かな穀倉地帯、西は奥武蔵の山地から緩やかに延びた緑あふれる比企丘陵という地形変化に富んだ風光明媚な景色に満ちた町です。

また、古墳時代を代表する国指定史跡「吉見百穴」をはじめ、松山城跡や吉見観音の名で親しまれている安楽寺など、貴重な文化財が数多く残された歴史の宝庫でもあります。

町の産業としては、昭和30年代から栽培が始まった「吉見いちご」が、県内随一の生産量を誇り、特産品として高い評価を得ています。町の中央には、この「吉見いちご」をはじめ地域の農産物を加工・販売する産業拠点「道の駅いちごの里よしみ」があり、連日多くの人でにぎわっています。さらに、吉見町は、首都圏50キロ圏にあり、東京などの大消費地に近いという好条件のもと、大規模な工場群も有しています。

吉見町を紹介する際、忘れてはならないものが、人と人とのふれあいです。吉見町の秋の風物詩である「町民体育祭」では、地域の子どもからご高齢の方まで、まるですべての町の人が参加しているのではないかと見まがうほどの活気があります。また、ボランティア活動も盛んで、イルミネーションフェスタなど町を元気にするさまざまな事業が若者を中心に展開されています。

この、「自然」「史跡」「産業」「人情」にあふれた吉見町で、先人たちは連綿と歴史を紡ぎ、この地を発展させてきました。

近年、人口減少、少子高齢化のさらなる進行など町を取り巻く社会情勢は激しく変化しています。私は、この変化に対応し、未来に向けて継続的な町の発展を図るために必要なのは、「全員プレイのまちづくり」であると考えています。これを実現するため、町民の皆さまや各種団体等との話し合いを通じ、よりよい吉見町を自信をもって元気な吉見の子どもたちに引き継ぐことができる「まちづくり」を進めていきます。

この要覧は、私たちの町の特色や自慢の数々を紹介しています。多くの皆さまにご覧いただくことで、ふるさと吉見町を誇りに思う心と、自らが主体となってまちづくりを担うという気概が醸成され、「小さくても輝く吉見町」「田舎でも誇れる吉見町」の実現につながれば幸いです。



吉見町長
宮崎 善雄

Contents

特集 いちご一會

吉見町に暮らす	02
おいしい! 吉見いちご	06
笑顔あふれる、にぎわいと憩いのスポット	08
歴史を感じ、自然にふれる。ふるさとを彩る祭りイベント	10
キラリと輝く遺跡に会う! 国指定史跡 吉見百穴	14
空から町を見てみよう	16
吉見町の文化財	20
町長と町民が語り合う、「吉見町の今とこれから」	21
議会と行政	28
吉見町の主な公共施設	29
データで見る吉見町	30
吉見町イラストマップ	32



町章
(昭和59年7月28日制定)

かつてこの地域は、東吉見村、西吉見村、南吉見村、北吉見村の4つの村からなり、昭和29年に合併し吉見町の前身となる吉見村が誕生しました。町章は、合併した4つの吉見が首長を中心にガッチリ手を組み、どの方向から見ても均衡のとれた安定感をもつ様を表しています。四方に突き出た先端は東(E)南(S)西(W)北(N)を意味し、どこまでも生成発展する吉見町のたくましさ象徴しています。



町の花/きく



町の木/けやき



町の鳥/ひばり

吉見町ってどんな町?

東西約7km、南北約8km、総面積38.64km²、豊かな緑と水源に恵まれた歴史ある町です。川島町と東松山市、鴻巣市、北本市、熊谷市に隣接していて、東武東上線やJR高崎線、関越自動車道などへのアクセスが便利な場所です。

吉見町に暮らす

「吉見町ってどんな町?」、ここで暮らすことを選んだ2つの家族に、町の魅力やふだんの暮らしについて聞きました。



左から次女・穂乃花ちゃん、妻・絵美さん、長女・和純ちゃん、秀俊さん

人と人との思いやりや助け合い。 大切なものが、この町にはある。

地域で交流を育みながら、子どもたちと楽しく暮らす

INTERVIEW | Case.1 田島さん一家 (平成29年から在住)

結婚を機に2年ほど吉見町を離れていましたが、実家の隣に家を建て、妻と娘とともに戻ってきました。実家は農業を営んでおり、米といちごをつくっています。妻も娘もいちごが大好きで、「甘くておいしい」と喜んで食べてくれます。娘が2人とも小さいためまだ外出が大変ですが、時々ふれあい広場に出かけて遊んでいます。

町の行事にもよく参加していて、体育祭では玉入れやリレーなどに出場しました。地域のみんで協力し、一体になれるのが楽しいですね。吉見まつりも、輪投げやくじ引き、フリーマーケットなど、子どもと一緒に楽しめるイベントが多いのがうれしいです。

よく利用しているのが、子どもの虫歯予防のためのフッ素塗布。保健センターで定期的にしてもらえるのでありがたいですね。町外の友人にもうらやましがられます。吉見町の子どもは虫歯が少ないのだそうです。

この町の暮らしで大切にしたいのは、ご近所づきあいなどの人間関係。近所の方々とは本当に仲良く、野菜などのおすそ分けをいただいたりや助け合いの精神が根付いていると感じます。また、町内を歩いていると知らない人同士でも挨拶をしたりと町全体が温かいと感じます。このような吉見のよさがずっと失われなければよいと思います。

(お話: 田島秀俊さん)



2歳の和純ちゃんは、遊具遊びなどさまざまな遊びが楽しい年ごろ



ネコのぬいぐるみがお気に入りの和純ちゃん



ママと一緒にシャボン玉、できるかな!?

穂乃花ちゃんは平成30年秋に生まれたばかり



Surrounded by the warm people of Yoshimi

After Hidetoshi Tajima married in 2017, he built a house next to his parent's house and began living with his wife and daughter. They live happy while participating in town events such as festivals and sporting events. They value connections and support with people in the community.

ここがベリーgood!

若年家族が暮らしやすい、町の支援制度

吉見町では、若年家族の移住・定住を奨励し、子育てなどの支援を積極的に行っています。

子育て世代の定住を奨励金で応援

夫婦の双方またはどちらかが40歳未満で、出産の予定がある世帯または中学生以下の子どもを育てている世帯は、住宅の購入・建築をする際に奨励金(新築の場合は価格の5%〈上限50万円〉、中古の場合は一律25万円)が交付されます。また、親との同居の場合はこれに10万円が加算、近居(親、子育て世帯がともに吉見町に居住)の場合は5万円が加算されます。

フッ素塗布サービスで、幼児のうちから虫歯を予防

吉見町では、1歳2~4カ月から3歳児健診受診時までの幼児を対象に、虫歯予防のためのフッ素塗布を実施。料金は1回100円で、2~4カ月間隔でフッ素塗布を行います。この活動により、3歳児の虫歯本数が平均2.76本(平成17年)から0.46本(平成30年)に減少しました。



今までも、これからも、 やっぱり吉見で暮らしたい。



左後方から母・文恵さん、父・真栄さん、晋也さん、祖父・杏海さんと長男・智也くん、妻・麻里さんと長女・佳奈ちゃん

子どものころの楽しい記憶を新しい家族に引き継ぐ

INTERVIEW | Case.2 島本さん一家 (平成30年から在住)

実家が無量寺という寺院で、曾祖父の代からこの地で暮らしています。私は進学を機に十数年間吉見町を離れていましたが、平成30年の春、2世帯住宅を新築して妻と2人の子どもとともに戻ってきました。両親と離れに暮らす祖父との4世代の生活です。子どものころに祖父や祖母によくしてもらった記憶があり、大勢で食卓を囲む今のような暮らしを希望していました。両親と再び一緒に住め、子育てにも協力してもらえ、戻ってきてよかったと実感しています。

久しぶりに暮らす吉見町ですが、まだまだ自然が豊かで、空気が澄んでいると感じます。子どものころから昆虫採集や魚とりに親しみ、八丁湖などでもよく自然観察をしています。

た。生物学を志すようになり、大学で妻と知り合い結婚しました。今の自分があるのは吉見町の自然あつてのこと。ここでは、妻との共通の趣味であるバードウォッチングや天体観望も楽しめます。

日々の食材は農協の直売所で新鮮な野菜と果物を購入し、家族でおいしく食べています。夏はトマト、冬はいちごが子どもたちの好物です。これからは、八丁湖のライトアップを見に行ったり、小さいころに自分が楽しみにしていた天王様の祭りや毘沙門様の祭りに出かけたり、大沼を抜けて百穴を散歩したりと、家族で吉見町をもっと楽しんでいきたいですね。

(お話：島本晋也さん)



吉見町に戻ってきて半年余り。「これから家族でいろいろなところへ遊びに行きたいです」と晋也さん



リターンして家族で迎える初めてのお正月は、もちろん吉見観音へ！

Living in Yoshimi with Four Generations

The Shimamoto family's house is a temple from generation to generation, and they have been living in the town since ancient times. Shinya Shimamoto, who left the town for many years, returned in 2018 with his family, and lives together as a large family. He likes the town's rich nature and delicious food.



11月、八丁湖ヒーリングナイトwith吉見観音を見に行ったときの記念写真



4歳の智也くんは、吉見町に引っ越してきてから虫や星に興味を持ち始めた

ここがペリーgood!

3世代が暮らしやすい、町の支援制度

あらゆる世代に優しいまちづくりをめざす吉見町。家庭で利用しやすいきめ細やかなサービスを行っています。

高齢者にうれしい「デマンド型交通」サービス

平成31年1月から、町民の予約に応じてフレキシブルに車両を送迎する「デマンド型交通」サービスがスタート。あらかじめ利用者登録をした後、必要なときに予約センターに電話をするだけで利用できます。車の運転をしなくなった高齢者の買い物などの重宝されそうです。



年間を通して子育て応援プログラムを実施

吉見町では、年間を通して親子向けイベントを実施。親子で楽しむ料理教室や工作、親子ヨガ、人形劇、講演会など多彩なプログラムを用意しています。小学生に向けた家庭学習ノートの配布、小学2年生～中学3年生までの漢字能力検定受験の費用負担も行っています。



みずみずしくて爽やかな甘さ おいしい! 吉見いちご

約80軒のいちご農家があり、県内一の生産量を誇る「吉見いちご」。旬を迎える冬、いちごを買い求める人で直売所に行列ができる様子は吉見町の風物詩になっています。



秋庭諭さん(左)と雅之さん。自宅からすぐの畑を親子で管理する

味にこだわり、親子2代で「吉見いちご」を支え続ける

いちご農家Report | 秋庭農園 秋庭雅之さん、諭さん

秋庭農園では、父の雅之さんが約60年前にいちご栽培を開始。8年ほど前から息子の諭さんも家業に専念することになり、2代で農園を営んでいます。

12~1月はいちご出荷のピーク。朝摘みのいちごをその日のうちに消費者に届けたいと午前中にいちごを収穫、大きさに選り分けてパックに詰め、多い時には70ケースほどを昼すぎに直売所などに出荷します。色鮮やかで見た目もおいしい「とちおとめ」、色は控えめでも甘みたっぷりの「やよいひめ」など、どれもとびきりの味!

「トンネル栽培からハウスへと、時代によって作り方も変わってきました。今は高設(水耕)栽培も広がっていますが、私は土を使うことにこだわりたいですね」と雅之さん。諭さんは「まだ父に教えてもらうことが多い。自分一人の力でもこの農園を続けられるようになることが目標です」と話します。

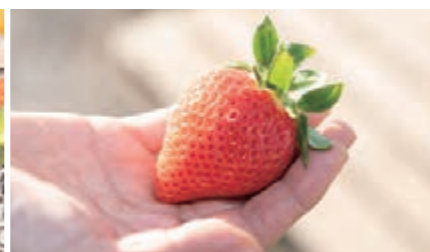
自然相手の仕事には休みがなく、自然災害による畑の被害など悩みの種は尽きません。それでも、「直売所で『このいちごがおいしい』と買ってもらうことが何よりの喜び」と二人は笑顔で語りました。



出来たいちごは、丁寧に手摘みで収穫



8つの規格に合わせていちごの大きさを選別する



食べごろのいちごは、その日のうちに消費者のもとへ

「吉見いちごで、町を楽しく」

吉見いちごSTORY

吉見町でいちご栽培が始まったのは、昭和30年代。当初は数軒でつくっていましたが、ハウス栽培の普及とともに農家の数が増え、恵まれた気候と栽培技術の高さで県内一の生産量を誇るようになりました。毎年旬を迎える12~4月は、直売所のいちごがすぐに売り切れになってしまうほどの名産品となっています。

また、いちご狩りスポットとして町内外から観光客を集めたり、町のお土産スイーツとしていちご加工品が開発されたりと、農産物の枠を超えた吉見町のブランドとして定着しています。



町内の保育所イベントでいちご狩りを楽しむ園児たち

吉見のいちごスイーツ Yoshimi's Ichigo Sweets

いちご大福
鮮度抜群のいちごを使った「いちご大福」は、いちごが旬を迎えると登場する大人気スイーツ。



いちご
生どら焼き



吉見町産の小麦を使った皮に、小豆あん手づくりいちごジャム、生クリームを挟んだ贅沢な一品。



いちごの
しづくサイダー

道の駅「いちごの里よしみ」でスタッフが手づくりし瓶詰めしているジャム。シンプルなおいしさ。



いちご
ジャム

いちごの優しい甘さと、シュワッとさわやかなサイダーの口当たりがおいしい、夏向けのドリンク。



いちご
パウンドケーキ

しっとりとした食感とたっぷりのボリュームがうれしい、いちご味のパウンドケーキ。

Delicious Yoshimi Strawberries

There are about 80 strawberry farmers in Yoshimi, and "Yoshimi strawberries" are a town specialty, and many local processed foods use strawberries. In addition, rice production is also active in Yoshimi, and Yoshimi rice has been developed into amazake, a sweet, traditional Japanese fermented rice drink.

ここがベリーgood!

吉見はお米もすごいんです!

いちご栽培とともに吉見町で盛んなのが米づくり。上空から見る町には水田地帯が広がり、昔ながらの美しい農村の景観を今に伝えています。吉見町では毎年約4,000トンの米が生産され、家庭や学校の食を支える大切な役割を担っています。

この吉見町の米を使った新商品「あまさけ」が平成30年に誕生しました。「2017年産米の食味ランキング」で特Aの評価を受けた品種「彩のきずな」(埼玉県)を使用した、すっきりとした味わいの米麹甘酒です。

「彩のきずな」について、開発段階から生産に関わっている小池農園の小池貴史さんは「粘りが強く大粒の米で、柔らかめのごはんが好きな人に向いています。病害虫に強く、農薬を半分以下にしてつくれます」と話してくれました。



約9年の歳月をかけて開発された「彩のきずな」

まだ新しい品種ですが、継続して買ってくださいお客様もいらっしゃいますよ!

「彩のきずな」を使った「あまさけ」



小池貴史さん

道の駅「いちごの里よしみ」では、あまさけと生のいちごを使った「いちごあまさけ」を販売



笑顔あふれる、 にぎわいと憩いのスポット

吉見町には、四季を満喫できる自然豊かなスポットや、快適に過ごせる施設がいっぱい。さまざまな人が訪れ、楽しいひとときを過ごしています。

八丁湖 所在地：吉見町大字黒岩

八丁湖は、水田耕作のためにつくられた人工の湖です。昔の名称は「八丁八反の沼」。末広りの八が重なると語呂がよいことからこのように呼ばれていたようです。面積は約52,000㎡で、湖の周りには遊歩道が整備され春には美しい桜が見られます。また、八丁湖のほとりには、展望風呂やバーベキュー場、運動施設などを備えた宿泊施設の「フレンドシップ・ハイツよしみ」があり、町民や観光客に人気です。



フレサよしみ 所在地：吉見町大字中新井508

スタイリッシュな外観が印象的な町民会館。「ミュージック&フラワーフェスタ」「イルミネーションフェスタ」のほかアーティストを招いてのプロ公演などを開催。事業の運営は、町民によるボランティア団体「フレサよしみサポーター委員会」の協力のもと行っています。施設内にはホールのほか会議室、和室などがあり、町民の文化活動にも利用されています。また建物は、映画やテレビのロケにも使われています。



ふれあい広場 所在地：吉見町大字小新井142

陸上競技場や多目的グラウンド、テニスコート、ジョギングコースなどの本格的なスポーツ施設と、芝生の上でのピクニックや遊具を使った遊びなどが楽しめるレクリエーション設備を併せ持つ広場。中央広場には「ふれあい」を表現したモニュメントがそびえ、広場西側は木々の緑がおだやかな自然の風景を演出しています。老若男女がさまざまな目的で集まってくるこのスポットは、憩いの広場として町民に親しまれています。



さくら堤公園 所在地：吉見町大字大和田ほか

昭和54年、1.8kmにわたる旧荒川堤防にふるさと歩道が設置され、これをきっかけに植えられた桜が約40年経った今では大木となりました。毎年春には堤防一帯が見事な桜の名所となり、のんびり花見をする人や、桜並木の中のウォーキングやサイクリングを楽しむ人でにぎわっています。また、堤防下には菜の花が植えられていて、桜のピンクと菜の花の黄色が織りなす美しいコントラストも町の名風景となっています。

道の駅 いちごの里よしみ 所在地：吉見町大字久保田1737

物産館や農産物の直売所、いちごハウス、いちごのお城をモチーフにした遊具など、吉見町らしさがいっぱいまった道の駅。いちごの加工品や昔から町に伝わる地粉うどん、手づくり味噌、郷土料理の吉見あぶら味噌など、吉見町ならではのおいしいものに出合えます。うどんづくり体験も実施。町のにぎわいの中心地として、またドライブ途中の休憩所として町民をはじめ近隣の人々に愛されています。



Lively and Relaxing Spots

There are many rich natural spots in Yoshimi where you can enjoy the four seasons, and there are many pleasant facilities. People visit from all over and have a great time.

ここがペリーgood!

吉見町にあった、意外な日本一 「川幅日本一」(吉見町～鴻巣市)

吉見町と鴻巣市の境を流れる荒川の川幅が全国最長であることが、平成20年の国土交通省の調査でわかりました。正確な長さは2537m、実に2km以上にもなります。これを記念し、川の右岸と左岸に「川幅日本一」の標柱が設置されました。

ところで、「そんな大きな川があったかな?」と思う人もいるかもしれません。実は、荒川のふだんの川面(川の水面)の幅は約30m。その周りには田畑が広がり、水は流れていません。これは、国土交通省では河川敷を含めた兩岸の堤防間を「川幅」と定義しているため、日本一と認定されたことによるものです。標柱から標柱へ車で走ってみると、その長さが実感できます。



歴史を感じ、自然にふれる。 ふるさとを彩る祭りイベント

春は美しい桜と菜の花、夏は伝統のお祭り、秋は畑いっぱいに咲くコスモス、冬は輝くイルミネーション…。吉見町では、豊かな自然と地域に伝わる歴史を満喫できる四季折々のイベントが行われ、人々を楽しませています。



百穴桜まつり

吉見百穴の近くには市野川が流れ、その堤防は桜の名所。百穴桜まつりでは、開花時期に市野川堤と百穴構内のライトアップを行います。また、百穴の無料開放日を設け、物産展やライブイベントなども開催しています。



厄除け朝観音

吉見観音の御開帳の日にあたる6月18日に催されるお祭りです。名物の厄除け団子を食べると一年健康でいられるといわれており、早朝から団子を買求める人たちが訪れ、境内にはぎわいを見せます。



summer

夏

道の駅 ランタンフェスタ

立教大学と道の駅の連携事業として平成28年にスタート。訪れた人が特産の吉見いちごの果汁で色付けし、思い思いの絵を描いたランタンが、夜になると点灯されます。そのほか「水かけ遊び」「流しうどん」などのイベントも行っています。



水仙・菜の花まつり

3~4月に水仙と菜の花が咲き乱れる吉見総合運動公園では、水仙・菜の花まつりを開催。菜の花列車やヘリコプター遊覧、フリーマーケットなど、子どもから大人まで楽しめるイベントが毎年目白押しです。



春



Festivals and Events Coloring the Town (Spring ~ Summer)

Yoshimi holds seasonal events to entertain the people. Spring delights people's eyes with beautiful cherry blossoms and rape blossoms, and in summer the lantern festival and other lively festivals are held.

イベントカレンダー 春~夏

3月	4月	5月	6月	7月	8月
●百穴桜まつり&ライトアップ	●水仙・菜の花まつり	●こどもまつり ●フレサ若葉祭	●厄除け朝観音	●久保田天王様 ●吉見百穴 夏休み期間特別企画	●吉見観音灯籠 ●道の駅 ランタンフェスタ
					
こどもまつり	久保田天王様	吉見百穴 夏休み期間特別企画	吉見観音灯籠での催し		

コスモスまつり

地元農家の有志が、町民に喜んでもらいたいと麦を刈った後の畑を利用してコスモスを植えたのが始まり。毎年10月中旬、コスモスが満開になる時期に開催し、気球体験や枝豆狩り、露店などを楽しみに大勢の人が訪れます。



吉見まつり

伝統芸能などの舞台発表や作品展、商工会の催し、飲食店の出店、バザー、福引きなど、さまざまなジャンルの催しが一堂に集まる、吉見らしさがいっぱいのお祭り。大勢で一斉に踊る恒例の吉見音頭は圧巻です。



町民体育祭

青少年からシニアまで参加して町ぐるみで行われる体育祭。地域ごとのチームに分かれて得点を競います。綱引きや玉入れ、パン食い競争、リレーなどおなじみの競技が行われ、会場は人々の笑顔と活気にあふれます。



autumn

秋



八丁湖ヒーリングナイトwith吉見観音

11月中旬、紅葉真っ盛りの八丁湖と吉見観音を幻想的なライトアップで彩る催し。雅楽や朗読、音楽イベントなどが行われるほか、バザーや露店も開かれ、いつもと違う名所の夜景を楽しみに人々が訪れます。



イルミネーションフェスタ




フレサよしみの芝生広場などで、青年団などの共催で12月上旬からクリスマスまで開催されます。町民手づくりのカラフルで豪華なイルミネーションは、多くの来場者を魅了します。週末にはミニコンサートも開催されます。

冬

winter



イベントカレンダー 秋～冬

9月	10月	11月	12月	1月	2月
	<ul style="list-style-type: none"> ●コスモスまつり ●町民体育祭 	<ul style="list-style-type: none"> ●吉見まつり ●フレサよしみミュージック&フラワーフェスタ ●ひゃくあな祭 ●八丁湖ヒーリングナイトwith吉見観音 	<ul style="list-style-type: none"> ●イルミネーションフェスタ ●フレサよしみクリスマスコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ●吉見観音初詣 	<ul style="list-style-type: none"> ●大串毘沙門さま縁日
	 <p>フレサよしみミュージック&フラワーフェスタ</p>	 <p>吉見観音初詣</p>	 <p>大串毘沙門さま縁日</p>		

Festivals and Events Coloring the Town (Autumn ~ Winter)

You can see vast fields of blooming cosmos flowers in fall, and in winter sparkling holiday lights are visible. On the New Year you can see people heading out to Yoshimi Kannon for the first visit of the year.

キラリと輝く遺跡に出会う！ 国指定史跡吉見百穴

吉見百穴は、約1400年以上前に造られた古代人のお墓。江戸時代中期からすでに「百穴」と呼ばれ、不思議な穴として人々の興味の対象となっていたようです。本格的に調査が行われるようになったのは明治以降。当初は住居としてつくられたという説が有力でした。大正時代に入り、出土品や横穴の構造から墓穴であることが明らかになりました。

戦時中、一部の横穴が壊され軍需工場の建設が行われましたが、戦後は地元住民により「吉見百穴保存会」が結成され、昭和36年からは当時の吉見村が管理者となり現在に引き継がれています。



ここがベリーgood!

地元の名士が守った、吉見百穴

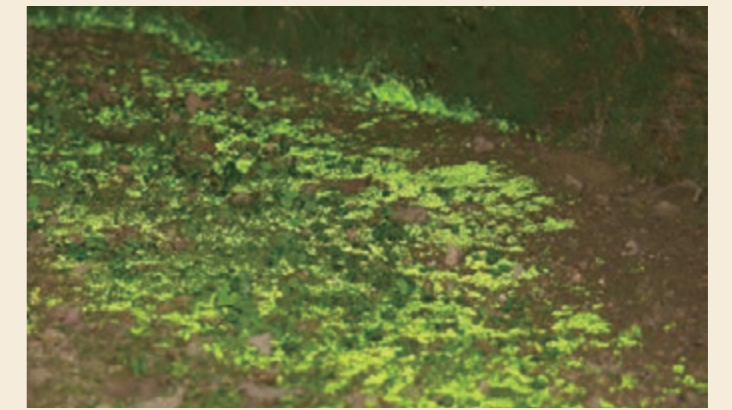
大里郡青山村で代々名主を務めた根岸家。その12代目・根岸武香は貴族院議員などの要職を務めるとともに文化活動にも貢献し、埼玉県内の出土品を帝室博物館に寄贈しました。考古学関連では、明治20年の吉見百穴の調査に先立って、明治10年11月に近隣の黒岩横穴群を発掘しました。発掘調査直後の明治21年9月には、私財を費やして完遂した百穴調査の成果を後世に伝えるために「意見上申書」を国に提出し、保存が実現しました。



明治20年頃の調査の様子（大澤康氏所蔵）

横穴の中で黄緑色に光る、 国指定天然記念物「ヒカリゴケ」

横穴墓の中にはヒカリゴケが自生し、国指定天然記念物となっています。ヒカリゴケは、薄暗く湿った環境の山地などに多く育つコケの仲間で、関東の平野部で自生するのは植物分布上大変珍しいものです。たくさんの葉緑体を含むレンズ状の細胞が穴の外から差し込むわずかな光を反射することにより、黄緑色に光って見えます。



埋蔵文化財センターで古代のものづくりを体験

百穴に隣接する埋蔵文化財センターでは貴重な文化財の見学ができるほか、古代人のアクセサリーである勾玉づくりや埴輪づくりを体験できます。



Yoshimi Hundred Caves, a Nationally Designated Historic Site The Historic Yoshimi Hundred Caves

The "Yoshimi Hundred Caves" is an ancient tomb made about 1400 years ago. Investigations carried out after the Meiji era knew that it was a tomb from the excavated items. Inside the caves is the naturally occurring hikarigoke luminous moss, a Nationally Designated Natural Monument. The Yoshimi Hundred Caves have been managed by Yoshimi since 1961 to the present day.

まだまだある！ 吉見百穴周辺の史跡

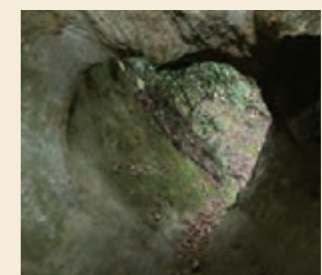
凸 比企城館跡群 松山城跡

比企丘陵の先端に築かれた北武蔵地方屈指の城で、国指定史跡です。近年の研究や発掘調査の成果から、1400年代の後半に築城され1601年に廃城。支配者は頻繁に変わりましたが、後北条勢力下の上田氏の支配下にあることが多かったようです。曲輪（くるわ）や平場、空堀などが良好な状態で残っています。



∴ 岩室観音と胎内くぐり

百穴から道路を挟んで南側の山の崖には、町の文化財「岩室観音」が鎮座しています（詳細はp20）。お堂の奥にはハート形の空洞を擁した岩穴があり、この中をくぐることで災厄を防ぎ、安産その他の願いごとがかなうと言われています。江戸時代の古い建築ですがお堂の2階部分にも登れ、高台からの眺めが楽しめます。



時を超え、現在に残る 古墳時代のままの風景

通常の観光では下から見上げることが多い吉見百穴。整然と並ぶ四角い不思議な穴に圧倒されますが、上空から見ると、長い年月を経てゴツゴツとした岩肌が、いかにも太古のロマンを感じさせます。中央の岩山に空いている四角い大きめの穴は、軍需工場跡の入口（現在は点検・調査中）。第二次世界大戦中、飛行機のエンジン部品を製造するために掘られました。生産が始まる前に終戦となりました。

ここには観光客が多く訪れるため、勾玉づくりなどの体験ができる埋蔵文化財センターや売店、休憩所があります。訪れた人たちは百穴の風景を写真に収めたり、付近を散策したりと思思いに楽しんでいます。



百穴と人々



秋の「ひやくあな祭」では、たくさんイベントが行われる



明治20年の調査では、須恵器や勾玉などが発掘された（大澤康氏所蔵）



百穴の内部。穴の奥に、遺体を埋葬するための「玄室」がある

Yoshimi Hundred Caves, Surpassing Time Until the Present

When you look at the Yoshimi Hundred Caves from the sky, the rugged rock surface makes you feel like an ancient romance. A large square hole in the central rock is the entrance to a factory from the war (currently under investigation). It was created during WWII, but the war ended before production began.

空から町を 見てみよう

自然豊かで歴史の長い吉見町。
少し角度を変えてみれば 違った表情が現れてきます。
上空から撮影した町の名所を紹介します。

吉見 百穴



道の 駅



老若男女が集う、 ショッピングと憩いの場

休日・平日に関わらず大勢の人でにぎわう道の駅。東松山市と鴻巣市を結ぶ東松山鴻巣線と、町を南北に縦断する大里比企広域農道の交差点に位置していてアクセスしやすく、町の中心的な商業施設です。中央に見える5つの円は、いちごの花をかたどった「円形広場」。円形広場の周囲はイベントスペースになっていて、露店が出たり、フリーマーケットの会場になることも。円形広場の北はJA農産物直売所、北西は飲食や加工食品が買える「いちごの里物産館」、西側角にはいちごのハウスがあり、ここで新規就農者の研修が行われています。敷地の3分の1は緑豊かな憩いの場。子どもが思い切り体を動かせる「わんぱく広場」もあり、多くの家族連れがここでくつろいでいます。



にぎわいの風景



シーズンになると、摘みだてのいちごを買い求める人で直売所は大にぎわい



「いちごのお城」をモチーフとした複合遊具を設置。子どもたちがのびのび遊ぶ



休日には、食事や買い物に訪れる人々で一段と活気づく

Michi no Eki, the Townspeople's Rest

The convenient roadside rest stop "Ichigo no sato Yoshimi" is a central commercial facility in the town. The five circles in the center are rounded squares like strawberry flowers. Events are held nearby, and there is a farm fresh sales point, a product center, and a strawberry cultivation green house.

この地で変わらず300年余、 人々を見守り続ける

自然豊かな山の中にたたずむ吉見観音。豊かな木々に覆われ、初夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と、四季の自然と日本建築が織りなす美しい景色が、訪れる人々の目を楽しませています。中央に見える本堂と奥に位置する三重塔は、実に350年以上の歴史を持つ建物で、いずれも県指定建造物。そのルーツは1200年前、行基が観世音菩薩の像を彫って岩崖に納めたことが始まりとされています。上空から見える屋根は、本堂、三重塔とももとは柿葺(こけらぶき)でしたが、現在は銅板が使われています。

吉見観音の周りには民家が並び、また、入り口の仁王門から階段を下りると参道が長くまっすぐに延び、正月や御開帳の日は大勢の参拝者が訪れにぎわいを見せます。吉見観音が多くの人々に愛されていることがうかがわれます。

吉見 観音



さまざまな風景



参道の途中には厄除け団子の店があり、参拝者の休憩スポットとなっている



吉見観音の中で最も古い建造物の三重塔。総高は約24.3m



境内はイベント会場になることも。ライトアップの中で行われた雅楽・舞楽会

The 1200 Year History of Yoshimi Kannon

Nestled in a lush green mountain, Yoshimi Kannon boasts beautiful scenery interwoven with the nature of the four seasons and Japanese architecture. It is said to have begun 1200 years ago when the priest Gyoki buried a Buddhist statue of Guanyin into the rocky cliffs. The main hall and triple pagoda are prefecturally designated architecture with more than 350 years of history.



八丁 湖

四季折々の姿が美しい 生き物たちの楽園

星のようなユニークな形が印象的な八丁湖。湖に生息する生き物、桜やアジサイ、モミジなどの花や木々、寒くなると飛来する冬鳥など、豊かな動植物の姿が見られ、まさに自然の宝庫です。この湖を囲むようにウォーキングコースやウッドデッキが整備され、気候のよい日には人々が水辺や森の中を散策する姿が見られます。また、湖の北側一帯の山には野鳥や自然植物の観察コースもあり、トレッキングやジョギングに訪れる人も。途中には、通称十六穴と呼ばれる黒岩横穴墓群の遺跡があります。

湖の南東にあるのは宿泊施設の「フレンドシップ・ハイツよしみ」。大自然の中での野外活動や、フットサル、テニスなどのスポーツができるほか、八丁湖を眼下に望む展望風呂もあり、観光や合宿などに利用されています。



歴史と自然の道



黒岩横穴墓群。多数の横穴墓が埋没しており、その数は500基以上と推定される



水鳥をはじめさまざまな野鳥が生息し、バードウォッチングの名所でもある



森の中にも道が整備され、歩きながら野鳥や植物の観察を楽しめる

Hatcho Lake, a Paradise for Creatures

At Hatcho Lake you can see a variety of flora and fauna, creatures that inhabit the lake, and winter birds that fly in when it gets cold. The mountain on the north side is well maintained for walking and jogging. In the southeast there is the "Friendship Heights Yoshimi" accommodation facility.

吉見町の文化財

吉見町の歴史を遡れば、「吉見百穴」がつくられた約1400年前にたどり着きます。そのころから人々はこの地で生活を営み、変遷する時代を生き抜き、その中で生み出された慣習や文化を次世代へと受け継いできました。吉見町に残る貴重な文化財を紹介します。



安楽寺仁王門・仁王像 ／三重塔

安楽寺は、かつては息障院と敷地が一体となった大寺院で、源範頼(源頼朝の弟)が幼少時に隠れ住んでいたとされています。戦乱で一時消失しましたが、江戸時代になってから本堂、三重塔、仁王門が現在の場所に再建されました。三重塔は最も古いもので、僧侶の杲鏡により寛永年間(1624～1644年)に建てられました。



観音寺板碑群

観音寺は真言宗智山派の寺で、僧侶の源教によって開山されたと言われています。本尊は不動明王。創立年代は不詳ですが、境内には板石塔婆があり、貞永2(1233)年、建長7(1255)年などの年号が彫られていることから、古い歴史を持つことがわかります。



かぶと塚古墳出土品

吉見町には、有名な吉見百穴のほかにも「茶臼山古墳」「山ノ根古墳」などの史跡が残され、この地に豪族がいたことを物語っています。かぶと塚古墳は、吉見町久米田にかつてあった古墳で、東西28m、南北26mの大きさ。調査では太刀や耳飾り、須恵器などが発掘され町指定の文化財になりました。



息障院(伝範頼館跡)

この息障院のある一帯は、源範頼(源頼朝の弟)の居館跡と伝えられています。範頼は建久4(1193)年に謀反の疑いで伊豆に流されました。範頼の没後は子孫が4代にわたってここに居住し、吉見氏を名乗りました。寺には多くの文化財が残され、周囲には、範頼の館建立時につくられた堀の一部などがあります。



岩室観音

岩室観音の開祖者は弘法大師で、高さ一尺一寸の観音像を彫ってこの岩窟に納めたのが始まりと伝えられています。代々の松山城城主に守られてきましたが、松山城落城とともに建物は消失、現在のお堂は江戸時代につくられました。札所巡り「比企西国三十三カ所」の第3番でもあり、四国八十八カ所の霊地の本尊を模した88体の石仏が収められています。



北条氏政書状

北条氏政は戦国時代の武将で、後北条氏の第4代当主。室町時代から安土・桃山時代まで吉見町に存在したとされる松山城は後北条氏の勢力下に長くあり、北条氏政は吉見町とゆかりの深い人物です。この書状は南吉見の大野家に残されていた貴重なものです。

Valuable cultural assets are left in Yoshimi

People have been living in this area since about 1400 years ago, when the Yoshimi Hundred Caves were created. They survived the changing times, inherited the created customs and culture, and passed them on to the next generation.



町民と町長が語り合う、 「吉見町の今とこれから」

農家や会社員、主婦、学生…。吉見町にはさまざまな人が暮らしています。町の皆さまは吉見町について何を思い、どんな未来を描いているのでしょうか。宮崎善雄町長との対談から、吉見町の「今とこれから」を探ります。

吉見中学校生徒会

×
宮崎善雄町長



町長 最初に、吉見町にどんな印象を持っているか聞かせてください。

生徒会 都会では感じられないものを吉見町で感じることができます。

生徒会 自然がきれいな町です。

生徒会 田舎がとても好き。自然が多くていいと思います。

生徒会 人と人との関わりが強いです。

町長 町のよいところを挙げてくれましたね。町にほしいものはありますか？

生徒会 ショッピングモールや家族で食事をするところがあるといいです。

生徒会 うちの前の道路が県道なのですが、信号を増やしてほしいです。

生徒会 夜は街灯があまりなく、少し怖いと感じます。

町長 今、道の駅の東側に商業施設の開発を進めています。また、街灯は作物にはよくないけれど、通学路の危険な箇所や暗い所は改善したいです。全部のことはできないのですが、みんなの考えは大切。自由に提案してください。

生徒会 インフルエンザで修学旅行に行けない人がいました。旅行の時期をずらしてみてもどうでしょうか。

町長 それはいい意見。昔は修学旅行は秋だった気がします。教育委員会にも聞いてみたいと思います。

生徒会 人口が減っているの、いち

ごをほかに売り込んだり、百穴の宣伝をしては？

町長 住んでもらうきっかけにも、町のPRは大事ですね。農家が高齢化していますが、吉見いちごも守りたい。

生徒会 吉見いちごはおいしいから、いちごのスイーツの種類を増やしてもいいと思います。

町長 武蔵丘短期大学の姉妹校にも、いちごを米粉を使ったスイーツを考えてもらっています。ところでみなさんはこの町にずっと住みたいですか？

生徒会 大人になって働くようになると居続けられないようにも思います。

生徒会 通勤など移動に時間がかかるようになると難しいかもしれません。

生徒会 僕は育ってきた町なので、安心だし、住み続けたいと思っています。

生徒会 将来、ここでフットサルのコーチをやりたいという夢があります。

町長 町を出たい人も住み続けたい人も応援しますよ。将来を背負っていくみなさんのために最大限の努力をしたいと思っています。

この町に住み続けて、
夢をかなえることもできる。



後列左から小林野々華さん、内田宇汰さん、大澤匡生さん、加藤千尋さん、萩原健亮さん、前列左から上原夏樹さん、柳光さん、宮崎善雄町長、杉田瑚々音さん、新巻大海さん

成人式実行委員会

×

宮崎善雄町長



町長 みなさんは今、大学生ですが、町外の大学に通うことで改めて吉見町に感じたことはありますか？

委員会 町内では道ですれ違った人に挨拶する習慣があり、親しみやすさを感じていました。小さい町だからこそよさではないでしょうか。

委員会 大学に入学したとき、友人に「吉見町に住んでいる」と言ってもわからないようで、あまり知られていないんだなと思いました。高校も町外でしたが建物が多い場所で、自分には田舎が合うのかなと思っています。

委員会 家の前は田んぼで、吉見の自然が大好きです。小・中学校のころは知らない人にも挨拶をしていました。高校から町外に通っていますが、人が多く大変と感じます。

町長 大人になると挨拶をしなくなる人が増えてしまうのですが、ぜひ続けてほしい習慣です。吉見町はこれからどうなっていけばよいと思いますか？

委員会 例えば、今後結婚して子どもが生まれたときのことなどを考えると、子どもに対する医療などはしっかりしていると思いますが、公園や買い物の場所が少ないかなと思います。

町長 子育てに関しては、まだまだできることがあると思うので、財源が許すかぎり考えていきたいですね。

委員会 私は大学で栄養学を学んでいて、子どもたちがもっと給食を好きになってくれれば、という思いがあります。私が子どものころは、出される食材が地場産のものだと知らずありがた

みを感じていませんでしたが、今は、地元の食材を使った給食を食べることは、とても大切なことだと思っています。

町長 その話はとても勉強になります。給食のすべてを地場の食材で賄うことはできませんが、農家を応援することも町の仕事ですから。今は子どもの数が少なくなり、学校のあり方も考えていかなければなりません。なかなか答えが出ませんが、みんなで考えていくことも大事だと思っています。

委員会 18歳になったときにちょうど町長選がありました。町政や役場について知る機会がなく、自分たちの声が届いているという実感もありませんでした。

町長 政治や行政からアクションを起

こすことも大事だと思っています。今、図書館を新しくする計画があり、ワークショップで中学生に意見を聞いたりしています。政治と行政、住民との距離を離さないことが大切だと思います。今年は統一地方選挙の年でもありますから、みなさんも「権利を行使しよう」とぜひ仲間に声をかけ、政治に関心を持ってもらってください。

委員会 町の広報もあまり見られていないと感じます。どうしたらみんなが見るのかな、と思います。

町長 どう情報を伝えるかということも重要ですね。今後も意見があればどんどん聞かせてください。私も車で出勤するとき、吉見町の風景の中に将来のビジョンを描いているんですよ。

町政を知り、自分たちの声を伝えていくことが大切。



左から柴崎一輝さん、宮崎善雄町長、小野川風音さん、大野莉穂さん

商工会／農業青年会議所

×

宮崎善雄町長



商工会 近年、町の人々は近隣の大型店に行ってしまう、8~9割は町外で買い物を済ませてしまいます。町内消費のかさ上げが課題です。町で購入するものは地元で買うとか、町外からの消費も促すなどどうでしょうか。

町長 9割が町外依存という状況は何とかしたいです。現在、道の駅の東側の開発を進め店舗の誘致をしているほか、町内の定住化計画も進めています。ただ、優良農地の開発を進めるのはとても困難なことではありますね。

商工会 工業分野では、工業用地を求める問い合わせが毎年数件ありますが、現状では土地利用の関係でそれができず、話が白紙になってしまいます。

町長 雇用の面でも、働く場所があることは大事ですね。ちょうど大和田の浄水場北側で工業用地開発を進めています。第六次吉見町総合振興計画では若い人にも参加してもらい、10~20年後を見据えた計画をつくります。

会議所 私は家業のいちご農家を継いで7、8年になりますが、若手がいなくなっていると感じます。農家が增えるには、まず十分な収入になるかどうか、また土地や設備があることも重要ですね。

町長 収入は確かに大切ですね。いちごの場合はハウスも建てなくてはならないですから。町がバックアップしていくことも必要だと感じています。

会議所 町には、米をつくりたいという若い人がいません。うちの米は、町の米販売サイト「まいねっとよしみ」を活用して販路を拡大しています。食味の良い米

商業と農業は一体。販路開拓に重点を置いた政策を。

づくりをすれば売れるのかなと思います。町内の消費をもっと促進したいですね。農業と商業は一体なので、販売もやっぴかなくては、と感じています。

町長 農業をする人は売るのが苦手なことが多いのですが、いちご街道ができたときに自分でつくって売るといやり方は、町の大きな一歩だったと思います。駄目でもともとでも企業の社員食堂で米を使ってほしいと頼んでみたり、いちごを企業に買ってもらうように働きかけるなどどうでしょうか。販路開拓は町でもサポートしていきたいです。

商工会 商工会の青年部では部員が減ってきています。建築、工業の会社が

少なくなり商売をする人も減っています。若い人が商売をやりやすく住みやすい環境になればありがたいですね。

町長 今、すべての団体がそういう傾向ですね。若い人たちが安心して戻ってこられる環境をつくってあげたいと思います。

商工会 女性の中には、地域の役員を降りてしまう人もいます。PTAなどもあって忙しい年代です。

町長 地域コミュニティのつながりが薄れてきているのもあるの shouldn't でしょうね。それがいろいろなことに影響している。今後は若い人に吉見町に踏みとどまってもらうことも考えていきたいと思っています。



後列左から小池貴史さん、秋庭 諭さん、原口昭子さん、森尾英之さん、前列左から三村喜宏さん、宮崎善雄町長

吉見町の今とこれから

交通安全母の会 ○8(よい歯)の会 フレサよしみサポーター委員会 × 宮崎善雄町長



フレサ 雇用がなく、若者が進学から就職の流れの中で町を出て行ってしまふ。小さな会社でよいので増えてほしいですね。

町長 大和田の浄水場北側に県に企業誘致の可能性調査をしていただいています。できれば製造業を呼びたい。ほかにも企業はあるので、今後企業訪問をしていきたいと思っています。

フレサ 企業と住民の間に隔たりがあると感じます。企業がもっとPRすれば住民も応募しやすいのでは。商工祭だけでなく「工場祭」もやってみたいですね。

町長 あまり知られていませんが、カルソニックカンセイは、日産GT-Rのダッシュボードを一手に引き受けている会社で、エコグリーン埼玉では、東日本の業務スーパーで売っている食パンをつくっています。従業員も募集しているのですが「吉見町民から応募はない」と言っていました。

フレサ あまり町民に知られていないですね。食パンを住民に売り出すなどしてみてもよいのかも。

母の会 私は交通安全に関わっているのですが、工場などができて車の通りが激しくなっています。信号のない道路を児童が渡ります。シニアの方に見守りをいただいています。安全という点も配慮してもらえると助かります。

町長 信号機の設置には警察が関わっているので難しい面はありますが、通学路の一斉点検を行います。歩道の整備も極力して、痛ましい事故が起こらないようにしていきたいと思っています。

企業と住民、老若の隔たりをなくして住みよい町に。

○8の会 私は子どもの虫歯予防の活動をしていますが、今は働いているお母さんが多いので、通勤時間が短くなるといいなと思います。近くで働く場所があれば住みやすいのではないのでしょうか。

○8の会 ○8の会ではパパママ健診も行っています。母親同士に交流してもらい、子育てしやすい町と言われるようになりたいです。フッ素塗布で虫歯が少なくなることも知っていただき、ここで子育てしたいと思うきっかけになれば。

町長 近くに仲間がいることは大事ですよ。拠点をつくって、町の資源も生かしていきたいですね。

フレサ 小さな祭りを集めて一つに

きないでしょうか。

町長 いいですね。神輿も山車もありますが、今は地区ごとに行っていますから。

フレサ 吉見は住みやすいと思っていますし、外からも関心を持たれていると思います。自然やいちごなど自慢できるものもあるので、みんなでPRしていく必要があると思います。高齢者と若い人がつながりを持つことが大事。フレサよしみを使って、一体感を感じることでできるイベントなどやっていきたいですね。

町長 フレサよしみは利用が多く、600席の席数も数としてちょうどいいと思います。多くの人が足を運ぶ場所になるとよいですね。



後列左から横田一郎さん、宮崎善雄町長、小林光子さん、岡安広美さん、前列左から本島秀美さん、加藤充代さん、福田雅子さん

吉見町の今とこれから

防犯パトロール隊 消防団 吉見町青年団 × 宮崎善雄町長



防パト 西が丘小学校のスクールガードリーダーをしています。活動に賛同して20人くらいが参加してくれています。ボランティアは強制ではなく、自分自身がやっていることに喜びを感じなければいけません。子どもたちが成長する姿を見るのは楽しいものです。

防パト うち3人からスタートし、今は17~18人です。犯罪の認知件数が3分の1に減り、役に立てたと実感しています。南地区にもパトロール隊ができ、住民の絆ができてきていると思います。地域で関心を持つことが大事ですね。

町長 防犯パトロール隊は、すべての地区にあることが望ましいですね。また、後継者がいなくなるようにしたいところですよ。

防パト 私は6年くらい活動しています。ユニフォームを着ると知らない人にも声をかけやすいですね。ユニフォームを活用し、いろんな団体が協力して町全体で一体感をつくるのもいいかもしれません。

町長 お金もかからないよいアイデアです。ユニフォームを悪用されないよう、特定して配ることも大事だと思います。消防団の状況はどうでしょうか。

消防団 団の人員確保が課題です。また、団員は仕事をしていますから、仕事に支障が出ないように活動しなくてはなりません。夜間に火事場に行き、仮眠する間もなく翌朝から仕事ということもあります。

町長 私も29年間消防活動に携わって

ましたが、消防団の状況はだいぶ変わって感じます。自営業が少なくなり人を確保しづらいですね。実際の災害に人が集まることが大事です。退団した人にも一部の活動をお願いするなどできればよいのですが、あまり高齢になると使う機具も変わってきてしまいます。

消防団 昨年の台風のときは作業に使用する機具が不足することもありました。異常気象もありますし、機具は重要なと思います。

町長 確かに、倒木が多かったのにチェーンソーが足りませんでした。管理をしっかりとしなければという反省点です。

青年団 青年団ではイルミネーションフェスタや祭りの屋台出店などの活動をしていて、町のいろいろな団体に協力をいただいています。「青年団が頑張っ

ている」と言っただけのがうれしいです。ただ、新たな参加者が減っています。人とのつながりができたり、いいことがたくさんあると思うのですが。

町長 「青年団は役場職員」というイメージがついているのかもしれませんが。企業に声がけすると協力してくれることもありますよね。町にサポートしてほしい部分はありますか。

青年団 下準備や細かい事務など仕事はたくさんあります。ボランティアが主体なのですが、町が行うイベントだと捉えられているように思います。実務面で町の支援を受けられればうれしいです。

町長 イベントは町の風物詩になっています。青年団、町のどちらがやっているということではなく、一緒にPRしていきたいですね。

地域貢献の喜びを大切に、周囲の共感を深めたい。



後列左から小泉宇宙さん、小川昭央さん、脇谷仁志さん、内山茂人さん、前列左から荻野勇さん、宮崎善雄町長、土田健壽さん

「吉見町の今とこれから」

シニアクラブ連合会

×
宮崎善雄町長



連合会 近年、農家の後を継ぐ人が少なくなったように感じます。雇用の場が少なく、商業施設もありません。観光資源を生かしてはどうでしょうか。百穴や八丁湖、またアジサイを観光資源にするのもよいのではと思います。

町長 交通アクセスは早く整備したいと思っています。商業施設の開発も時間がかかりますが、人に来てもらうことによって町を活性化していきたいですね。

連合会 私は先祖にもらった土地を守りたいのですが、年代によってこの考え方も違いますね。現実的には80歳を超えたら農家を続けるのは難しいと思います。個人で高い機械を買うのもたいへんです。

町長 特に米と麦は、国の予算を投下しなければやりくりできない産業に

なっていました。農地の集約や中間管理をしていかなければ5年後、10年後に耕作放棄地が増加してしまうことが予想されます。

連合会 高齢者が生きがいを持つにはどうしたらよいでしょうか。若い人が町を離れてしまうので、不安を抱えているのではないかと思います。数時間でも地元で働ける環境があればと思います。

町長 現在企業誘致を進めていますが、今秋からは、いちご栽培への企業参入が本格的になってくるので、町民の皆さまに働いていただくことができるかもしれません。ところで、お子さんやお孫さんにも吉見に住んでもらいたいと思いますか？

連合会 うち長男が戻ると言ってくれています。町営住宅などをつくって若

い人を呼べば、そのうち土地を買って住んでくれるかもしれません。ただ、今は若い人がなかなか結婚しないですね。

連合会 高齢者はどこまで増えるのでしょうか。私の年代も多いのですが、力仕事はできなくても何か役に立ちたいと思っています。高齢者もいろいろできることがあると、若い人に知ってもらいたい。

町長 ありがたい言葉です。生産年齢人口の定義を見直した方がよいかもしれませんね。

連合会 コスモスの会では85～88歳のみなさんがとても元気ですよ。

町長 その年代だからできることもありますよね。

連合会 ふるさと納税はどうなっていますか。いちごを武器にはできないでしょうか。

町長 プロジェクトをつくって勉強に行く予定です。寄付金は財源として使えますから目標を立ててやっていきたい。

連合会 そこで話題をつくれればメディアも取り上げてくれますよね。

連合会 私は昭和50年に吉見町に来ましたが、今は団地の空き家が多くなり町の負担も重くなるのではと感じます。草刈りをずっと続けているのですが、2年前から周りもやってくれるようになりました。誰かが先頭に立つことは大事だなと思います。

町長 コミュニティを守るために我々に何ができるかしっかり考え、まちづくりをみんなでやっていきたいと思っています。

「吉見町の今とこれから」

区長会

×
宮崎善雄町長

町長 コミュニティ維持のためには何が必要と考えられますか？

区長会 空き家、ごみ問題などあるなか役員が高齢化し苦勞しています。

区長会 お祭りなどが集まる機会が少なくなりました。形を変えて続けることはできると思いますが、リーダーシップをとる人が必要ですね。

町長 昔はイベントなどには地域の全員が参加していたものですが、そういう時代でもなくなってしまいましたね。

区長会 八反田では若い人が、花見やボウリングなどは子連れで来てくれます。

町長 団地は夏祭りをやっていますね。東西南北の役員という立場からのご意見はありますか？

区長会 吉見町民が一堂に会する体育祭のような機会も大事かなと思います。

区長会 北公民館ではフレサよしみを使った芸能発表会をしています。3世代が1グループになって歌いましょう、という演出が増えています。

町長 小学生の演技が終わった後はどっと観客が減ります。子どもの参加は大きいですね。

区長会 体育祭では小中学校選手の枠がなくなってしまいました。若い奥さんも参加せず、選手の決定が大変です。

町長 無制限という枠になってしまったのがあまりよくなく、中高生が走れなくなってしまいました。体育祭は形を変えても継続していきたいと思っています。

区長会 敬老会はフレサよしみでかしまってやるのがいいのでしょうか。昔は学校で飲食をしながらでしたが。

町長 敬老会についても検討しています。よりよい敬老会となるよう、みなさんの意見をお聞きしていきます。

区長会 人数が多い集落も少ない集落も、同じだけ役員がいます。地域の統廃合も必要なのかなと思います。一番の問題は小学校ですね。

町長 教育会議で学校のあり方を協議するよう指示していますが、学校は地域の財産でもありますので、子どもの環境を考え、いろいろな世代の意見を聞いていきたいと思っています。

区長会 人を多く呼ぶこともしていきたいですね。八丁湖ヒーリングナイトで開催した吉見観音の雅楽はすごい人気で

した。吉見町のPRになると思います。

区長会 住んでいる人は気にも留めていないのですが、前山団地からの八丁湖の景色は素晴らしいですよ。松山城も、城郭がなくても人気です。町にある財産を生かしていきたいですね。

区長会 よしみんに活躍してもらいたいのではないのでしょうか。キャラクターとしていいし、子どもにも人気です。

町長 よしみんはラグビーワールドカップの応援団にも入っているんですよ！



町の魅力で人を呼び寄せ、コミュニティの強化を。



左から高橋昇さん、田島豊さん、宮崎善雄町長、近並重雄さん、関口利夫さん

対談を終えて（宮崎善雄町長）

町民の皆さまとの対話による「まちづくり」は、私の町政運営の根幹を成すものです。今回はさまざまな年代や産業・ボランティアに関わる方々とお話でき、大変有意義でした。ぜひ、町へのご意見をお聞かせください。お声掛けいただければお伺いします。町のみんなで町の将来を考えましょう。

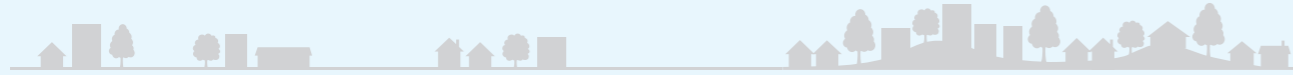
高齢者の活躍の場は、まだまだ広がっている。



後列左から大久保吉正さん、松岡照代さん、宮崎善雄町長、吉田清司さん、祝田哲雄さん、福田秀子さん、前列左から新井幸枝さん、柴崎和男さん、岡安利枝さん

議会と行政

Town Assembly and Administration



議会風景



議長 内野正美



副議長 神田隆



町長 宮崎善雄



副町長 菅野明雄



教育長 大澤幸正

町民の声を生かし、町の未来を拓く

吉見町議会は14名の議員で構成され、福祉・教育・産業など町が行う身近な事業に町民の意見を反映させながら、よりよい町民生活を実現していく役割を担っています。年4回の定例会のほか、必要に応じて臨時会が開催され、議案や請願の審議などが行われます。審議内容や議会で決定したことは、定例会後に発行されるよしみ議会だよりに掲載されるほか、吉見町のウェブサイトでも公開しています。また、議会は原則としてどなたでも傍聴できます。

行政運営においては、町民と協働しながら効率的かつ柔軟な町づくりを進め、広報・広聴活動や積極的な情報公開に努めています。

The Yoshimi Town Council consists of 14 assemblymen. They hear the opinions of the town's residents on a wide range of issues, including education, industry, and welfare policy, and then work to address those issues. Regular meetings are held four times a year, and special events are held as needed.

吉見町の主な公共施設

Public Facilities

マークは避難所です



埋蔵文化財センター

吉見町大字北吉見321
TEL. 0493-54-9111



武道館

吉見町大字御所187-1
TEL. 0493-54-5625(町民体育館)



吉見町役場

吉見町大字下細谷411
TEL. 0493-54-1511



よしみけやき保育所・子育て支援センター

吉見町大字中新井467
TEL. 0493-54-1766



保健センター

吉見町大字下細谷1212
TEL. 0493-54-3120



町民会館(フレサよしみ)

吉見町大字中新井508
TEL. 0493-53-1331



福祉会館(障害者地域デイケア施設ひばり)

吉見町大字下細谷1216-1
TEL. 0493-63-5012(福祉町民課福祉係)



町立図書館

吉見町大字中新井497
TEL. 0493-54-1517



東松山消防署吉見分署

吉見町大字下細谷1196-1
TEL. 0493-54-1558



悠友館(地域包括センター)

吉見町大字下細谷1213
TEL. 0493-53-0526



町民体育館

吉見町大字中新井493-1
TEL. 0493-54-5625



勤労福祉センター

吉見町大字下細谷1210
TEL. 0493-54-5027(地域振興課商工観光係)



データで見る吉見町

自然が豊かで歴史が古く、人々がのんびり暮らしている…。そんな吉見町の姿を、さまざまなデータや数字から見てみました。

Yoshimi by the Statistics

Yoshimi has lush nature, a rich history, and an easy-going way of life. Here are some statistics and numbers that demonstrate that.

人と暮らし

人口

19,117人
(平成31年)

性別では男9,600人、女9,517人、世帯数は7,730です。



出生

71人
(平成29年)



全国と同様の傾向で、少子高齢化が人口減の一因となっています。

死亡

246人
(平成29年)

保育所の待機児童

0人
(平成31年)

保育所には子育て支援センターも隣接。乳幼児から子育てをサポートします。



敬老・長寿祝金をもらった人

297人
(平成29年)



203人が77歳、84人が88歳、7人が99歳、3人が100歳を迎えました。

小学生一人あたりの虫歯の数

0.32本
(平成29年)

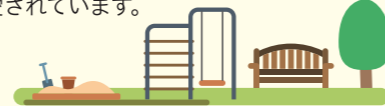
平成18年からフッ素塗布サービスを実施。子どもの虫歯が激減しました。



吉見町にある公園の面積

220.52ha
(平成30年)

自然豊かで広々とした公園は、多くの町民に愛されています。



吉見まつりの来場者

約11,000人
(平成30年)

町でおなじみの恒例行事。大勢で踊る「吉見音頭」は圧巻です。



町民体育祭に出場した人

約6,500人
(平成30年)

町民の3人に1人が競技に参加、または応援に来ています。



防災訓練参加者

約1,584人
(平成30年)

体験型防災訓練や車両展示などが行われ、多くの町民が参加しています。



自然と産業

いちごの作付け面積

約132,400㎡
(平成28年)

埼玉県で第1位。多くの農家が「吉見いちご」を支えています。



道の駅 いちごの里 よしみの入場者数

約114万人 (平成29年)

町内外の人々にぎわいの場として人気のスポットです。



米の作付け面積

971.9ha (平成28年)

吉見産の米の多くは町内の学校や家庭で消費されています。



製造品の出荷額

約135億円 (平成29年)

製造業が多く、埼玉の町村で第4位の出荷額を誇ります。



町の土地で田畑が占める割合

約46%

田畑は、美しく緑豊かな町の風景をつくり出しています。



八丁湖の面積

52,000㎡

全長1,600mのウォーキングコースに囲まれ、多くの人の憩いの場となっています。



コスモス畑の面積

8.3ha (約800万本)

「よしみ コスモまつり」では、畑いっぱいに咲くコスモスの眺めが楽しめます。



さくら堤公園の桜並木の長さ

約1,800m

春には、どこまでも続く桜のトンネルと菜の花との共演が楽しめます。



吉見町と鴻巣市の間を流れる荒川の川幅

2,537m

平成20年にこの川幅が全国最長と確認され、記念の標柱が設置されました。



歴史と文化

国・県・町指定の文化財の数

31

建造物、古文書、史跡などがあり観光客や町民に親しまれています。



吉見百穴の穴の数

219基

八丁湖の黒岩横穴墓群は、さらに多い500基以上とされています。



ささら獅子舞の伝統

約400年

下細谷地区で江戸時代から行われている行事で、町指定無形民俗文化財です。



吉見町イラストマップ

Yoshimi Guide Map



吉見町役場へのアクセス

●自動車

関越自動車道東松山ICから鴻巣方面へ約15分

●電車・バス

JR高崎線「鴻巣」駅下車、川越観光バス「東松山駅行」に
乗車し「久保田」バス停下車、徒歩約5分

東武東上線「東松山」駅下車、川越観光バス「免許セン
ター行」に乗車し「久保田」バス停下車、徒歩約5分

町内タクシー会社

吉見タクシー ☎0493-54-1802

Information

召し上がれ 吉見グルメ

※道の駅いちごの里よしみで食べられます。

吉見いちご

いちごのシーズンには、
直売所やいちご街道で
摘みたてのおいしさを満
喫できます。



地粉うどん

吉見町産の小麦だけを使っ
てつくられたうどんは、
もちもちのおいしさ。



手づくりみそ

吉見町産の米と大豆を使
い、地元農家が丁寧に
手づくりしました。



あぶら味噌

旬の野菜を豚バラ肉と
一緒に油でいため、味噌
と砂糖で味付け。地域の
伝統料理です。





いちご
Ichigo-ichie 一会

発行：吉見町 平成31年3月

〒355-0192 埼玉県比企郡吉見町大字下細谷411

TEL：0493-54-1511(代) FAX：0493-54-4200

URL：<http://www.town.yoshimi.saitama.jp/>

編集：総務課 制作・印刷：株式会社文化工房